

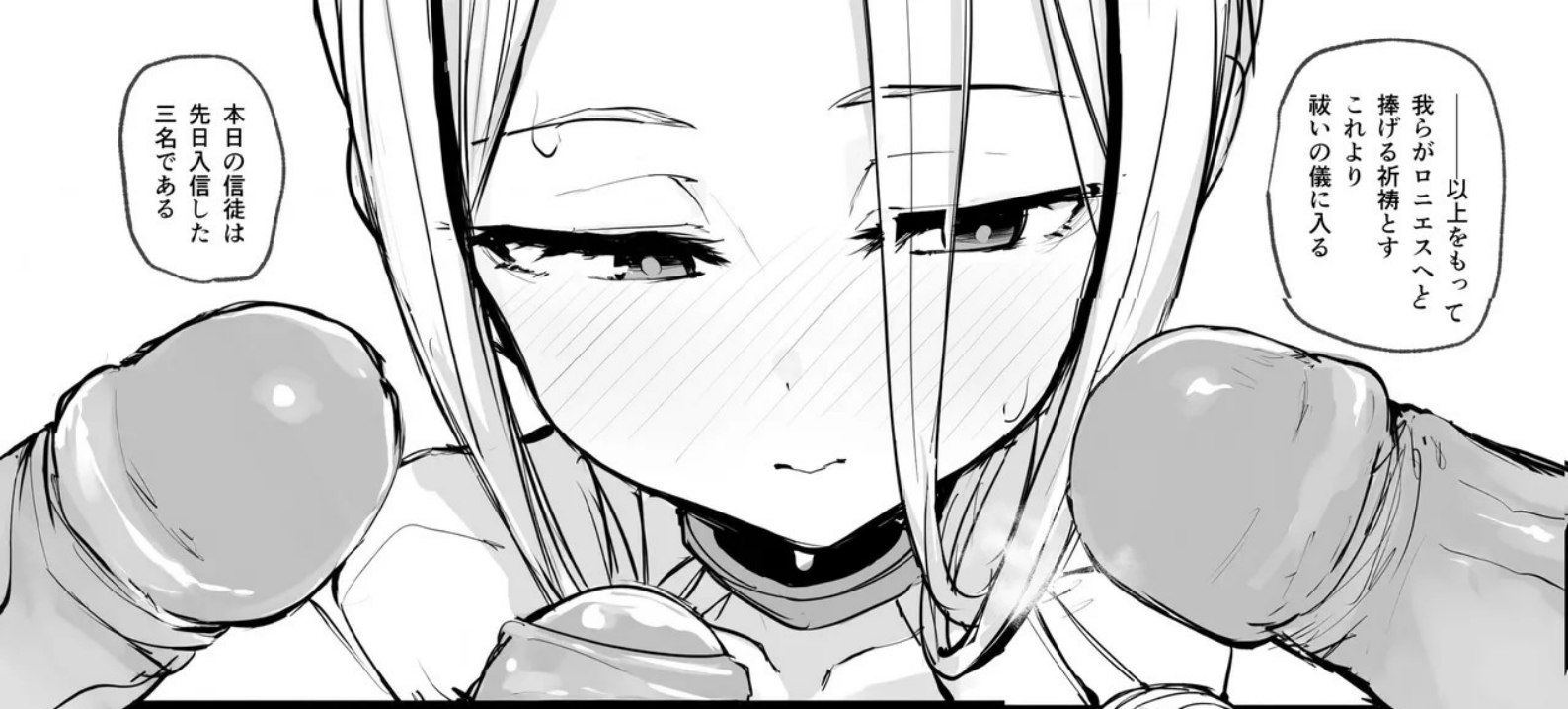


# HEARTLESS

for adult only

以上をもって  
我らがロニエスへと  
捧げる祈禱とす  
これより  
祓いの儀に入る

本日の信徒は  
先日入信した  
三名である



ソニア  
この者たちの穢れを  
祓ってあげなさい

は…はい…  
お師様…

失礼いたします…



6月4日  
今日から日記を書きます。



孤児院の人が  
書いてほしいって。



新しいおうちに  
引き取られました。  
フェルネ教？っていうのは  
よくわからないけど  
優しいおじいさんでよかったです。



でもお師さまが優しく  
教えてくれるから  
がんばれます。

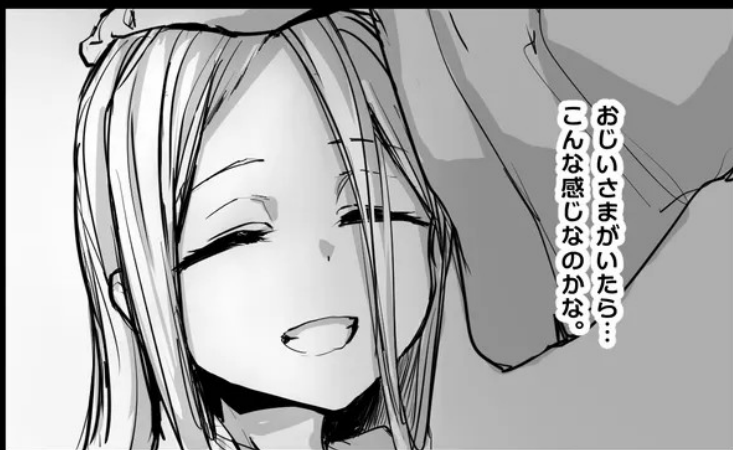


6月10日  
お師さまはたくさん  
のことを教えてくれます。  
学問のこと。食事のマナー。芸術。言葉づかい。

フェルネ教の教えは  
私には難しく  
よくわかりません。  
もっと勉強しなきゃ。



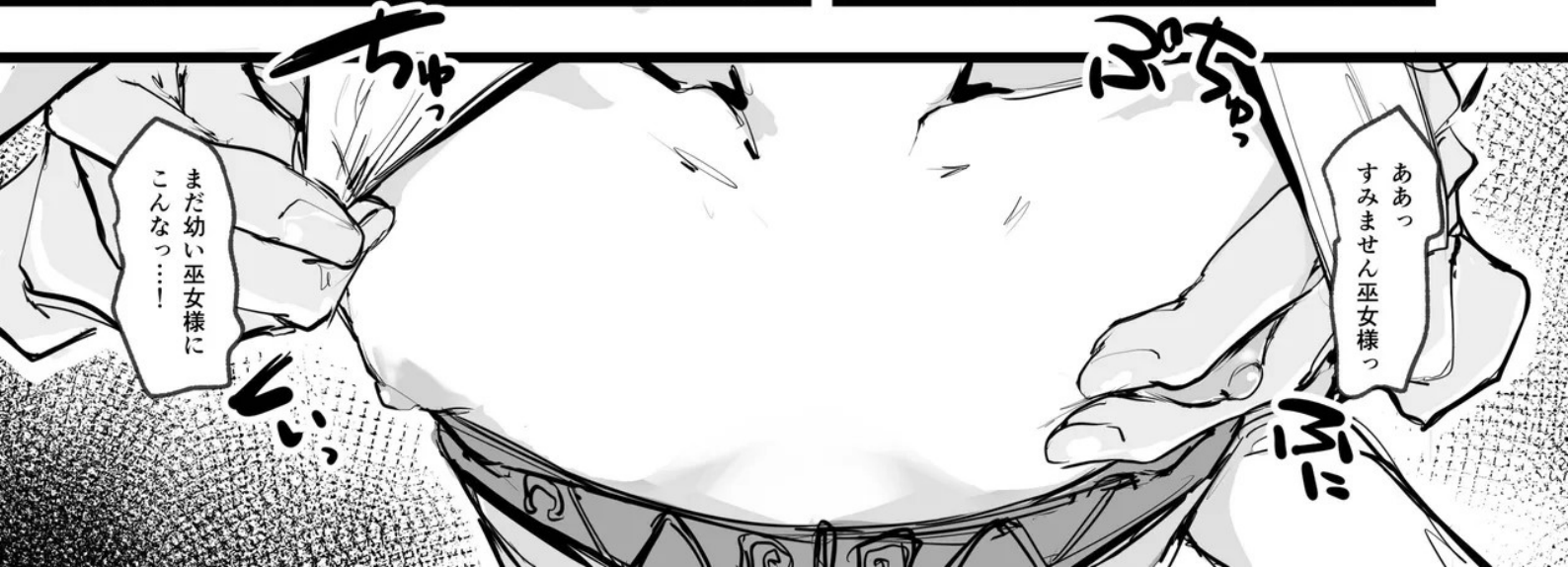
おじいさまがいたら…  
こんな感じなのかな。



ソニア

君には穢れを祓う  
特別な力があるんだよ











もし新たに穢れを  
吐き出したくなっても  
我慢をさらずに



それでは舌で穢れの塊を  
落としていきます



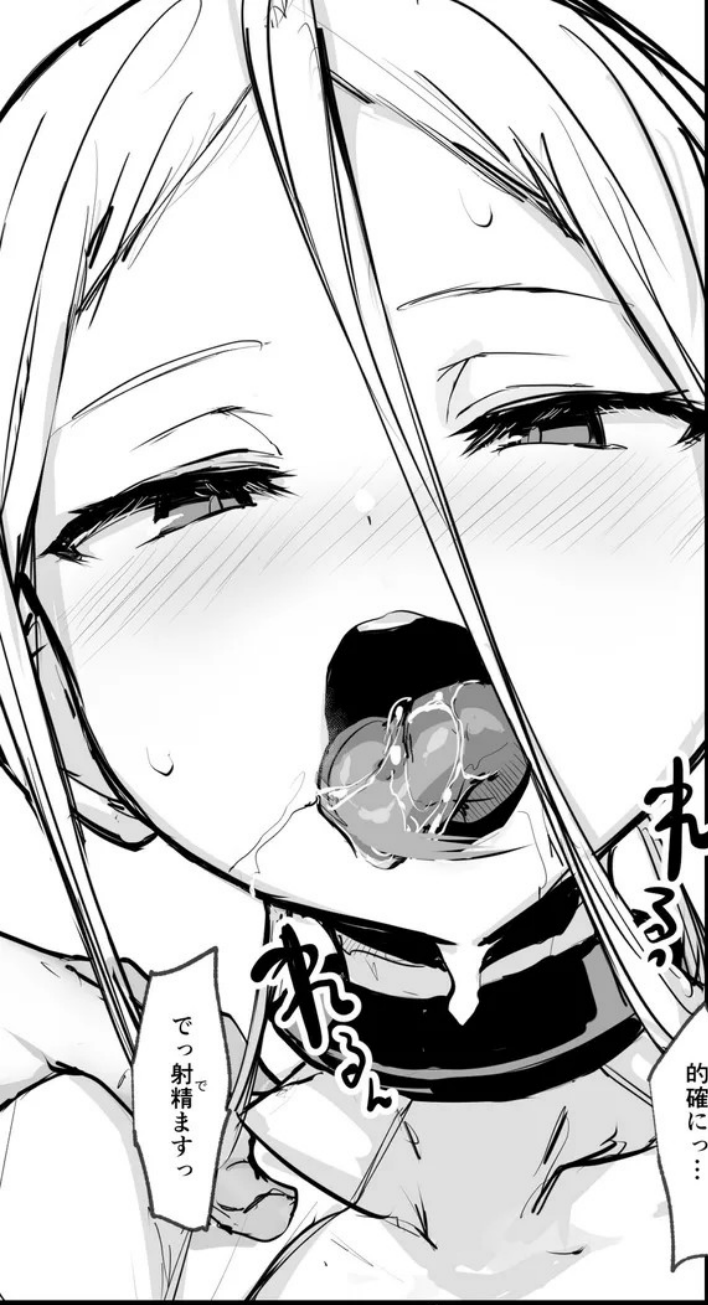
れんふ...っ  
受け止めまふ  
ふっ...んっ.....



好きなほひに

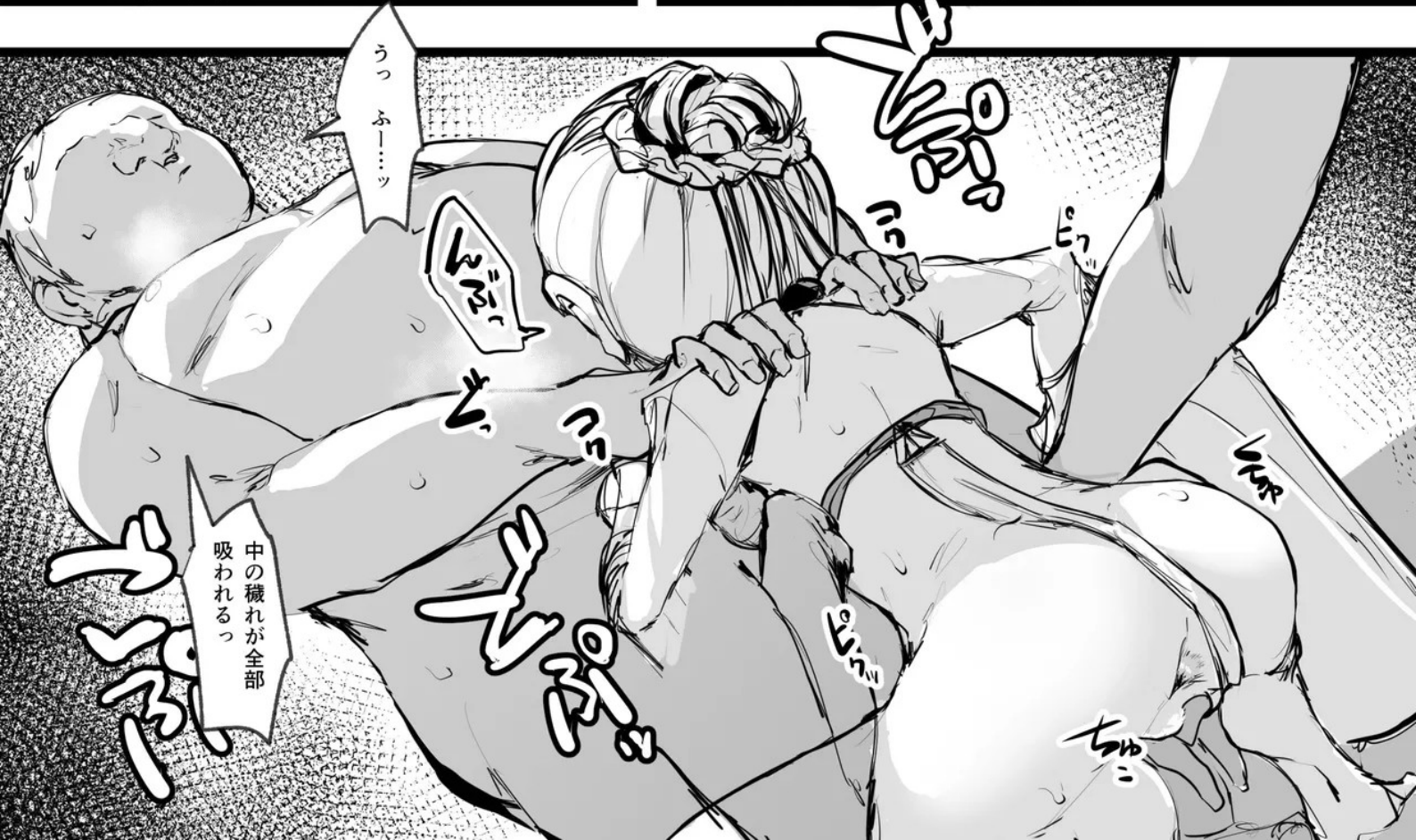


吐ひらひへくらはい



でっ射精ますっ

うおっ…そんな  
弱いところを  
的確にっ…



うっ  
ふー…ッ

中の穢れが全部  
吸われるっ





お、お願いします！  
僕：頑張りますから！

失礼します

？  
はい……  
？



うっ……！  
舌で舐りながらっ  
どんどん飲まれて……ッ

んあ、

んあ、



あはは



僕のモノが全部  
巫女様の口の中につ

舌がうねっ...!  
クッ... ああっ  
で、射精ます!

しゃぽ



あ...あはは...  
あつという間でしたね...  
いつもこうなんです...

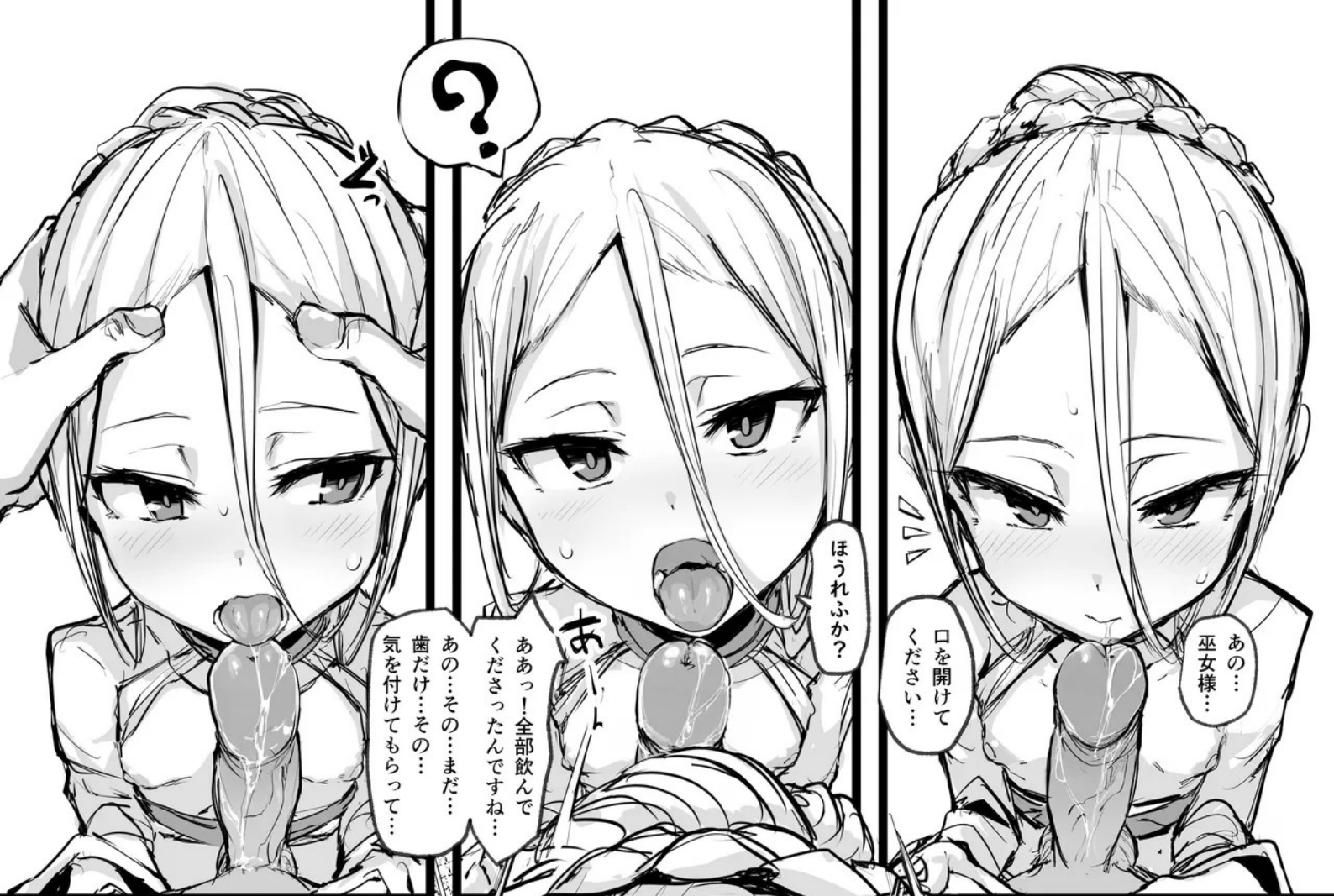


飲んでッ...!  
全部飲んでくださいッ!

あはは

あはは

あはは





巫女様の口っ  
小さくてっ  
吸い付いてきてっ  
ううっ...！

お許しください！  
お許しください！...！



おお...



どうかこの者を  
救い導きたまえ...



おお...  
なんと乱暴な...  
穢れが溢れておる



あの…巫女様…  
再び穢れが…

俺も…  
お願いします！

と、取り乱してしまい  
申し訳ございません…  
改めてお願いします…



こっちもっ  
こっちも  
お願いしますっ!

あ...ああ...  
頬も柔らかい...

まさか一日に二度も  
お願いできるとは...

うう...っ  
こんなんじゃ  
またすぐに...

穢れが込み上げてっ  
お祓いくださいっ

ほ、僕も  
失礼しますっ

で  
射精ますっ

しゅ

しゅ

しゅ

しゅ

しゅ

しゅ

しゅ

しゅ

しゅ

しゅ

しゅ

しゅ

しゅ

しゅ

しゅ

しゅ

しゅ



皆は我らがロニエス神が  
お救いくださることだろう

祓いの儀は滞りなく終了した



びゅん

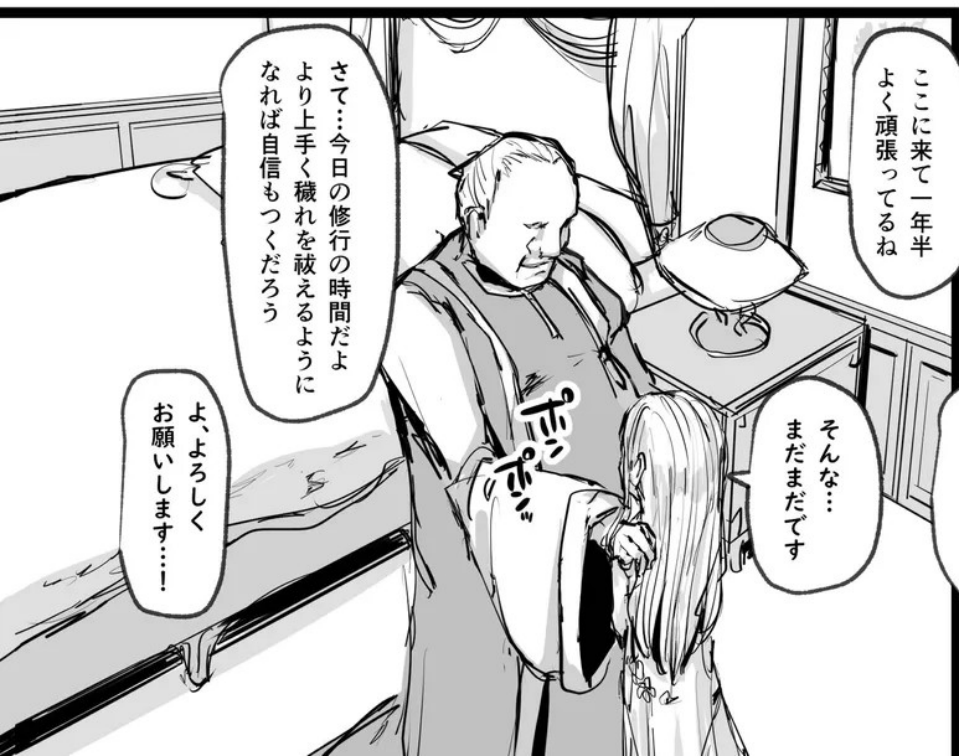
は

は

は

びゅん

びゅん



さて…今日の修行の時間だよ  
より上手く穢れを祓えるようにな  
れば自信もつくだろう

よ、よろしく  
お願いします…!!

ここに来て一年半  
よく頑張ってるね

そんな…  
まだまだです



今日もよくやってくれたね  
全て君のおかげだよ ソニア  
途中激しくされていたが  
大丈夫だったかい？

あの…  
いえ…なんでも…



まずは挨拶の練習から。  
口でふれると穢れが  
出ていきやすくなるそうです。



6月12日  
検査でいろんなところを触った後  
穢れを祓うための修行が始まりました。

もう十二月か  
どうりで  
寒いわけだ  
暖めておくれ

はい...お師さま



7月17日  
今日も口で穢れを  
祓う修行です。

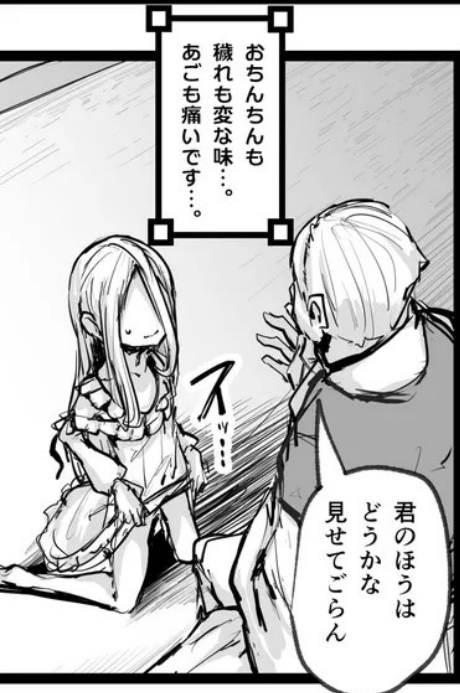


すん  
すん

おちんちんの  
変なおいは穢れが  
大きいほど強くなるみたい。

は、はい……!

まずは挨拶から  
教えたとおりに  
できるね



おちんちんも  
穢れも変な味……  
あごも痛いです……

君のほうは  
どうかな  
見せてごらん



おん

もうすっかり  
慣れたものだ  
良いだね



もう少し念入りに濡らしておこう  
気持ちいいだろう

8月9日



ふむ少し濡れている...  
身体が穢れに敏感になっ  
てきているね

でも穢れが出ていくときのお  
師さまはとも気持ちよきさう...  
ちよっと嬉しいかも。



ここまで  
挿入るからね

夜からはお師さまと私だけで行っ  
「折りの修行の説明を受けました。  
でも...



よし  
おいで

ほんとにお師さまの  
おちんちん…  
私の中に入るのかな…

素晴らしい  
修行の成果だね

しかし  
ここからだ

これから毎日お師さまが  
お薬をあそことお尻に  
塗り込んでくれます。

オチンチン

オチンチン

ガク

ガク

ガク  
ガク  
ガク





明日も二人の信徒の方の  
穢れを祓います。  
これからがんばらなくちゃ。

すぐッ果てて  
しまいそうだった



こりゃあ  
いかんッ



8月12日

受け止めて  
おくれッ



お薬を塗ってもらっていたら  
体がフワッとなって  
目の前がチカチカして  
立てなくなりました…。

怖くなってお師さまに聞いたら  
祝福で私の体が  
喜んでるらしいです。  
これが祝福の力…すごい…。

今日はまだまだ  
溜まっておるからな

11月21日

このまじり  
何だか少し寂しい…  
変な気持ちです…  
ホームシック？って  
いうみたいです。

さあ  
綺麗に  
しておくれ

シーチェ…  
ママ…  
みんなも  
元気かな…？

自分から  
腰を振って…  
指を離して  
くれないねえ

私は新しいおうちで  
お師さまと  
仲良く暮らしてるよ…。





今でも少し記憶が曖昧です。  
でもいつまでも  
くよくよしては  
いられません。

んっ…



今度は自分で  
挿入れてごらん

はい…



みち

12月3日  
今日の信徒の方は  
少し乱暴な方でした…。  
きつと穢れの影響だと思えます…。



夜からは初めての  
祈りの修行です。

みち…

みち…

みち…

みち…



挿入り……  
ました……♡

始めはすごく痛いし  
全然入らなくて  
泣きそうでした。

じきに慣れる  
そうですが……  
ほんとかな……？

いい子だ



なんとか無事に  
終えることが  
できました。

次も……  
わかるね？

ここまでたくさん  
祝福をいただいた  
おかげです。

6月4日  
今日でお師さまに  
引き取っていただいて  
1年が経ちました。

自分のペースで  
いいんだよ

びびり

びびり

びびり

この頃はおちんちんを  
嗅いだだけで  
頭がぼーっとして  
おまんこも濡れてきます。

心身共に巫女としての  
自覚ができてきたんだと  
思います。

動…きます…っ

そう  
その調子

びびり

おおっ  
おおお!  
なんと  
力強い腰使いっ

今日も祈りの修行中  
何度もイッて  
しまいました…。

お師さまのおちんちんは  
とても遅く  
繋がると私のお腹ごしに  
どこまで入っているか  
わかるくらいです。

細かに震えて…っ  
腰を打ち付ける度  
達しているのだね

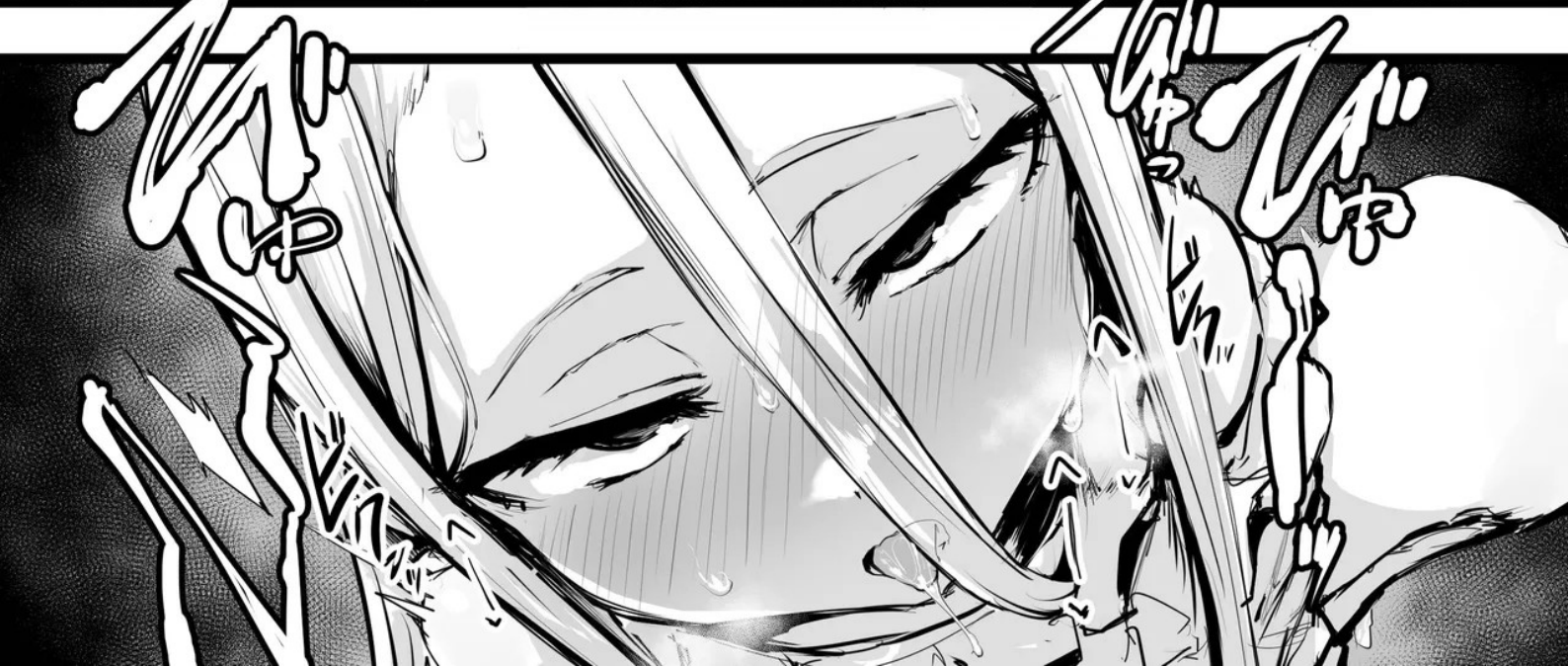
実に  
いじらしく  
愛らしいっ

くっ



膈壁が  
吸い付いて  
しごき上げて  
きよるっ

射精すっ  
射精すぞおっ



私の中に穢れを吐き出すとき  
お師さまは何度もキスをしてくれます。

はぁ  
はぁ  
はぁ

はぁ  
はぁ  
はぁ

少し苦いけど  
大好きな味です。  
こんな日が  
続きますように…

6月5日

さあ  
お尻に向けて

ふぁ…



今日は今までずっと  
準備していたお尻で  
お師さまの  
お相手をしました。

準備は  
してあるね？

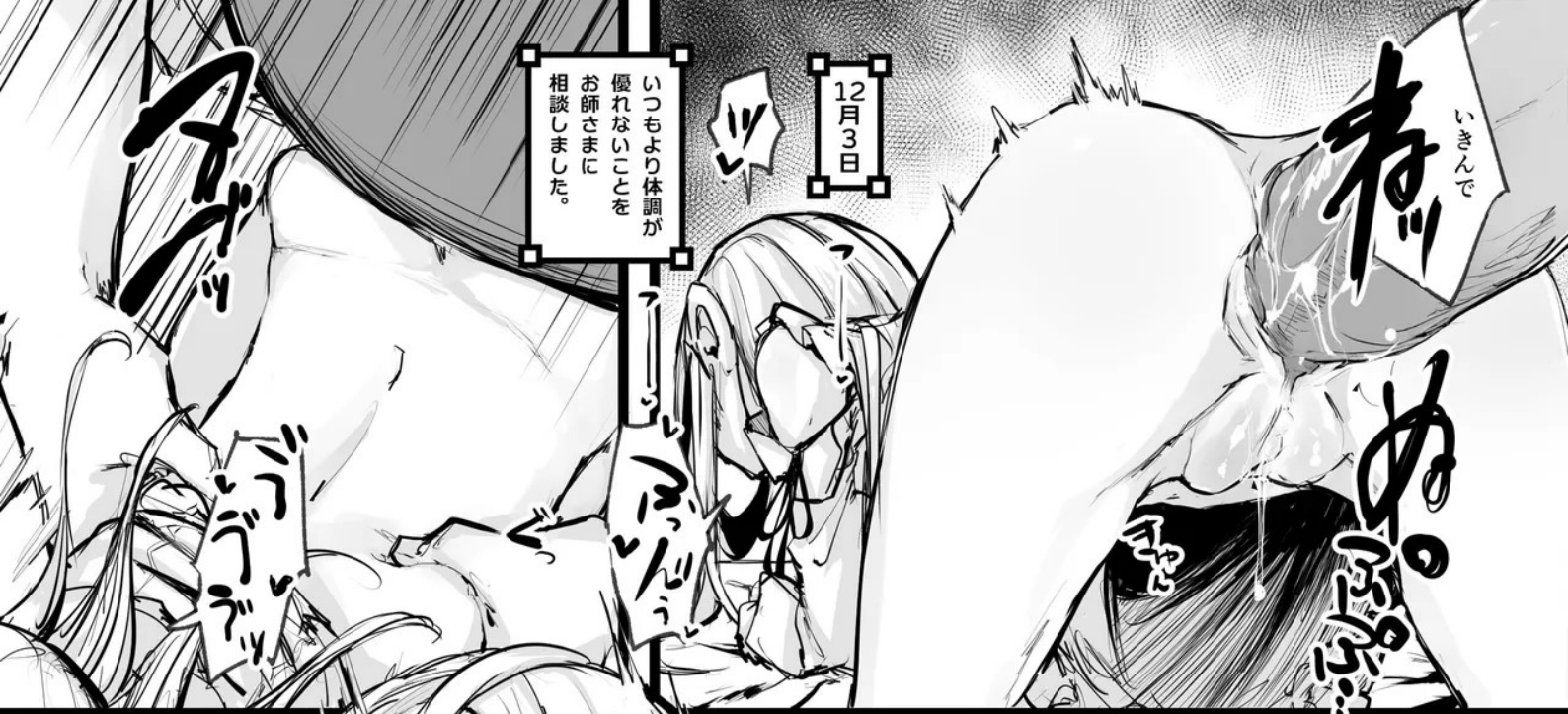
外側から  
気持ちいい場所を  
擦られるような  
焦らすような  
刺激があります…。

はい…っ  
キレイに  
してあります

よろしい

お尻でするのも  
好きになって  
しまいました…。

それじゃあ  
挿入れてくから



いきんで

めろ

12月3日

いつもより体調が  
優れないことを  
お師さまに  
相談しました。

するとお師さまは  
穢れの真実を  
教えてくださいました。

根元までっ  
啜えこんで…ッ

丹念に準備した  
甲斐もあった  
というものっ

人は穢れより  
生まれ出するものと。



あー

めろ

めろ



めろ

あー



不浄の穴までッ  
こんなにも  
こなれてっ

お師さまの穢れを祓うとき  
おちんちんから感じる力強さも  
快楽に呑み込まれそうになるのも  
あのとき感じた温かさも。

そこに命の輝きが  
あつたからなのですな。

もうすっかり  
一人前の巫女だっ

大好きなお師さまとの  
子を授かるなんて…。

しっかり  
受け止めるんだよっ

本来人と穢れは  
切っても切り離せぬ  
ものというところを。



おん  
おん  
おん

おん  
おん  
おん

おん  
おん  
おん

おん  
おん  
おん

おん  
おん  
おん

おん  
おん  
おん





今日もよく  
頑張ったね

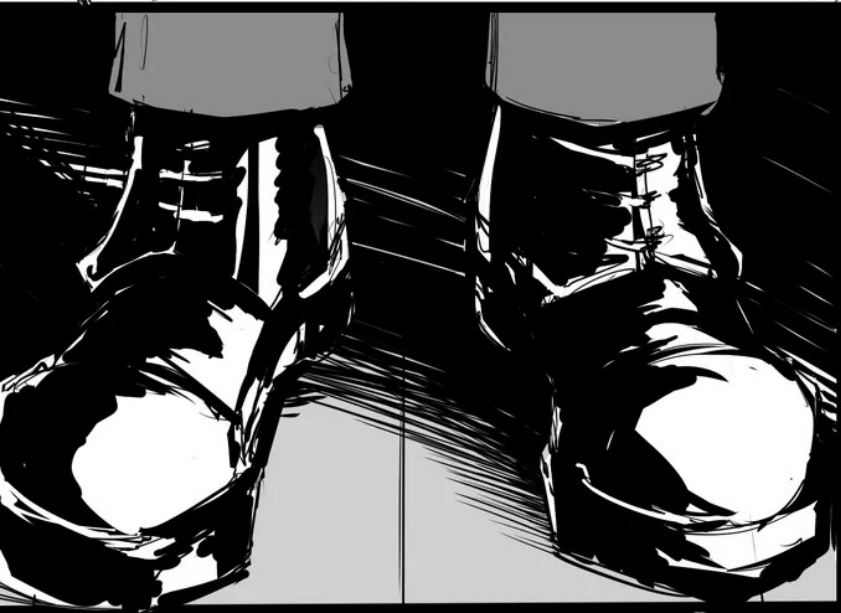
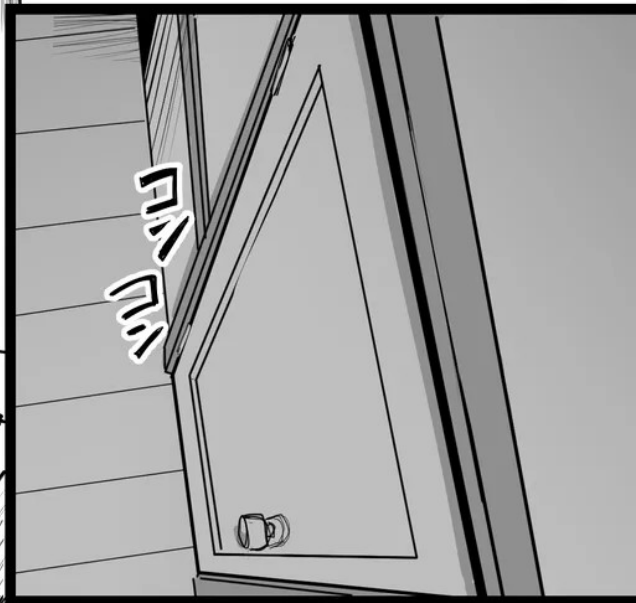
自室へ戻ったら  
ゆっくりお休み



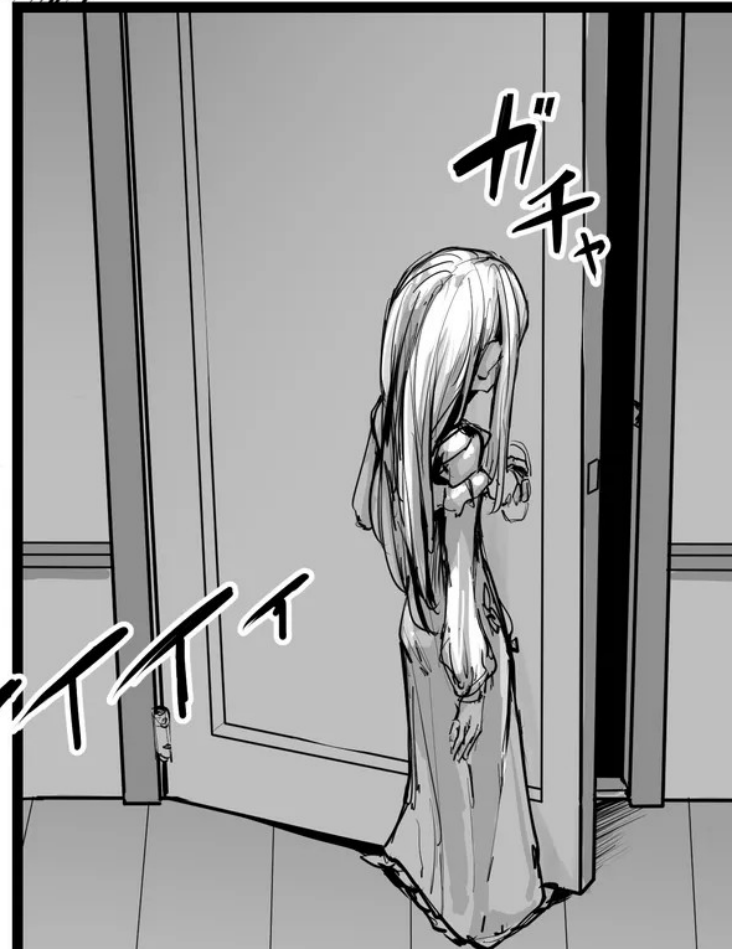
もうこれからは  
一人だけの身体じゃ  
ないのだから：

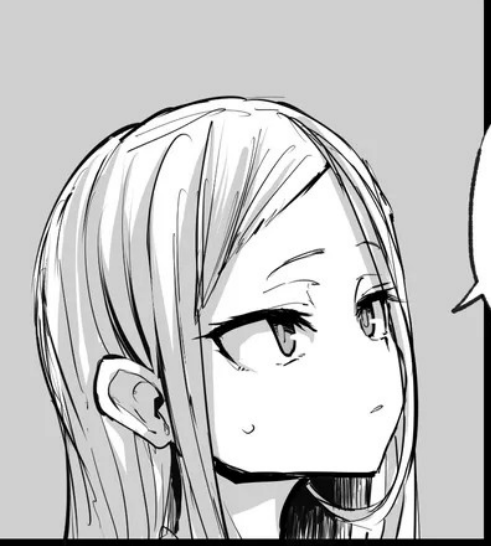


12月4日:

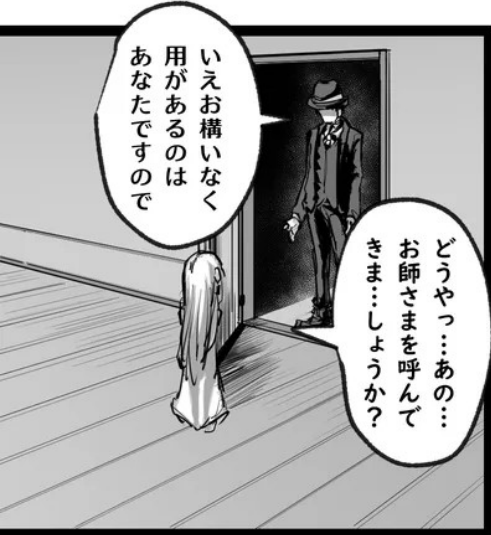


カチカチ





孤児院の…?



いえお構いなく  
用があるのは  
あなたですので

どうやっ…あの…  
お師さまを呼んで  
きま…しようか?



どうも



あ…  
というかもう  
こんな格好



…?

一年半…  
時期尚早…ですが  
優先事項の準備が  
整いましたので



日記は…  
ちやんとつけている  
みたいですね  
結構



する必要  
無いですねー

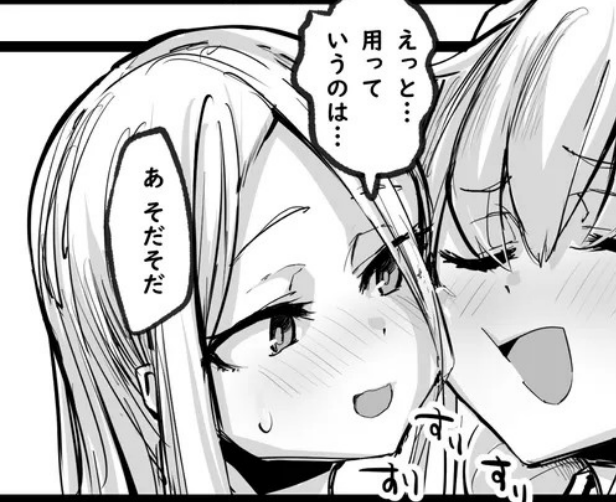


んー？  
そう見えた  
だけですよ



え？あの…  
男の人じゃ…？

あーん！  
元気になりましたー？

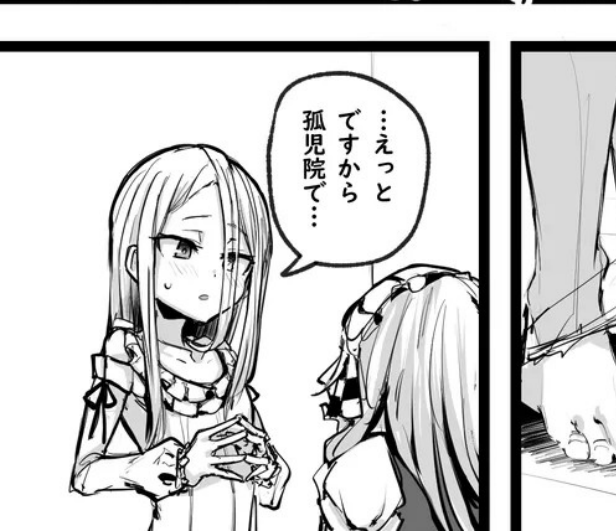


えっと…  
用って  
いうのは…

あそだそだ



この時期はすぐ  
背伸びますねー



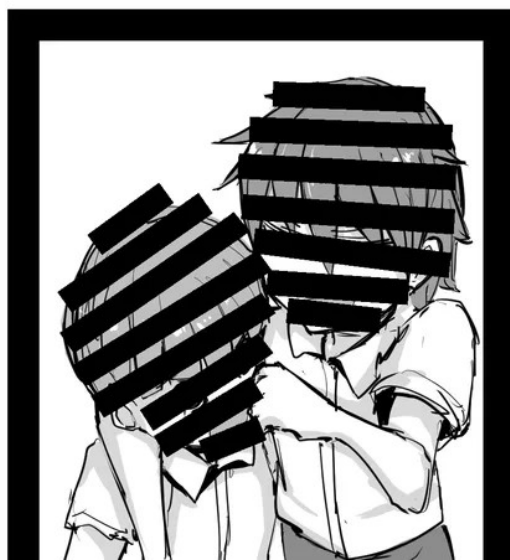
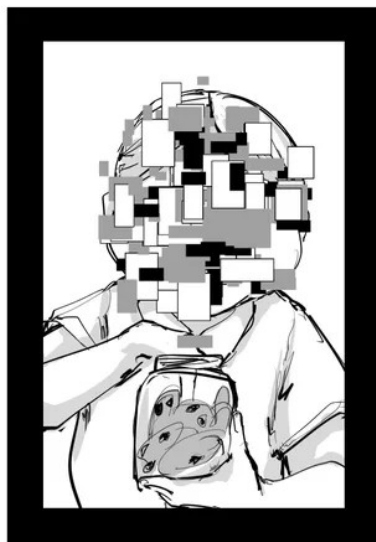
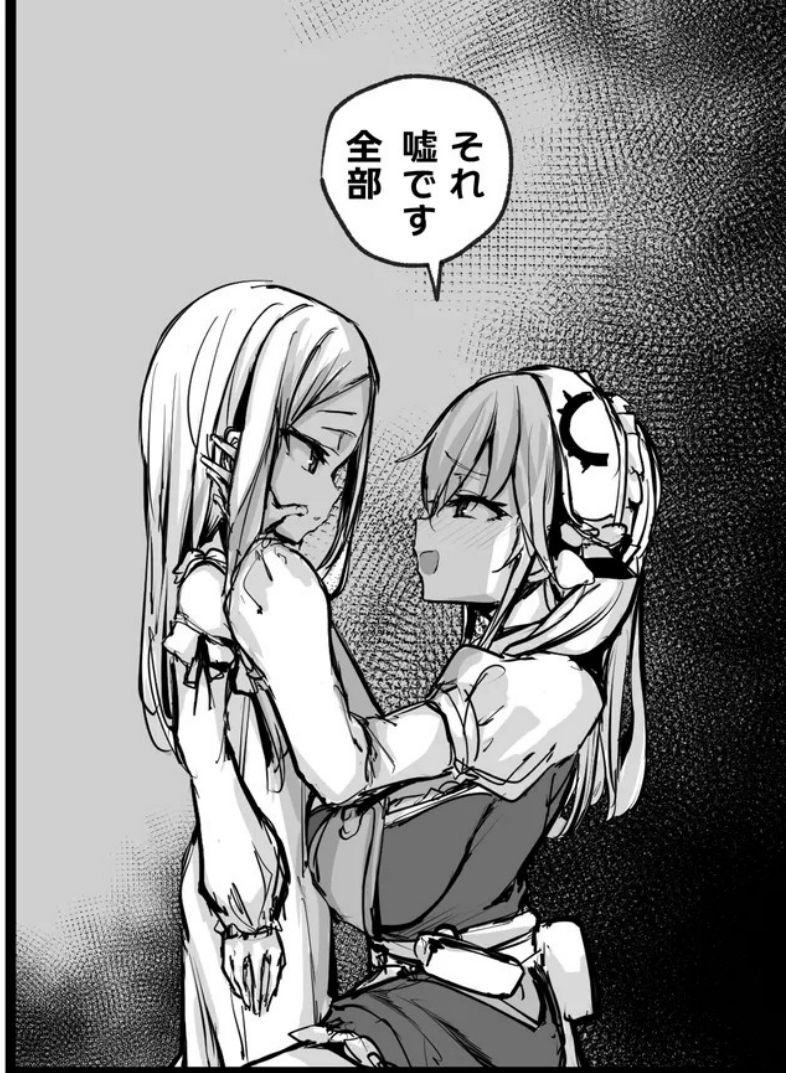
…えっと  
ですから  
孤児院で…

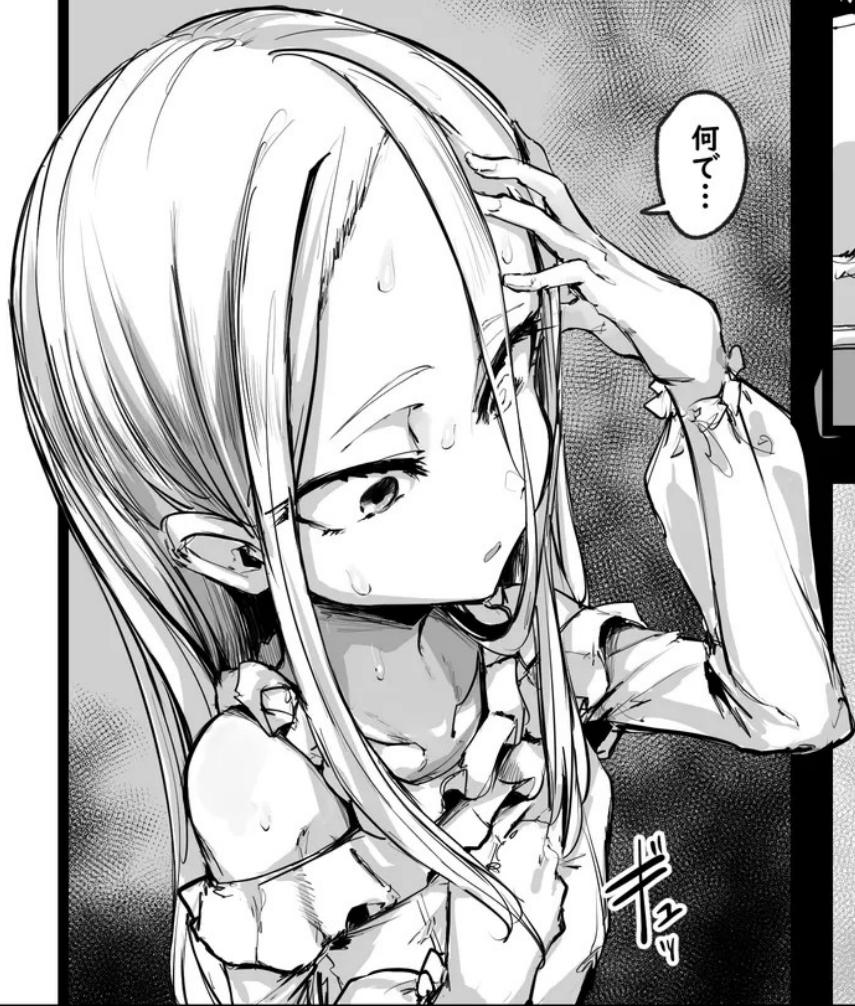


よいしょっと  
ここに来る  
前のこと  
憶えてますか？

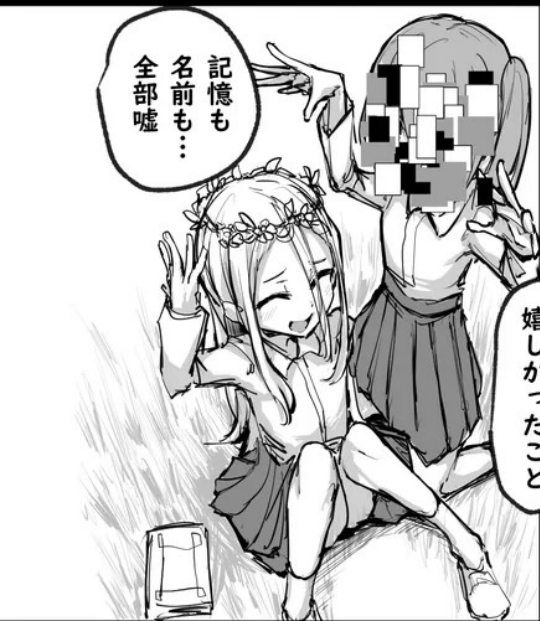
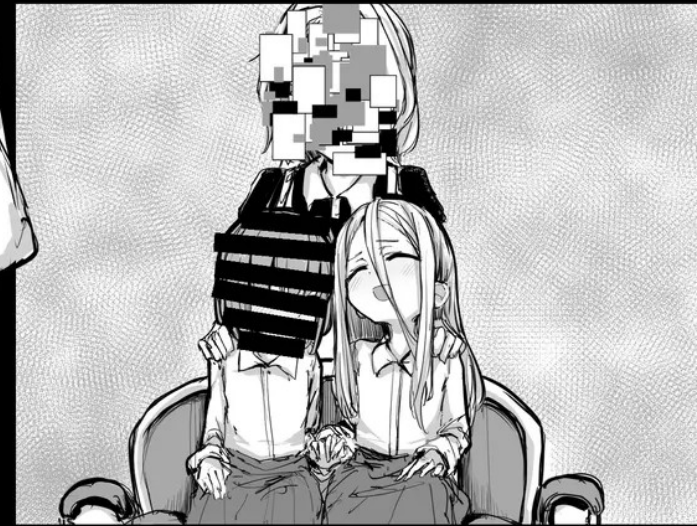
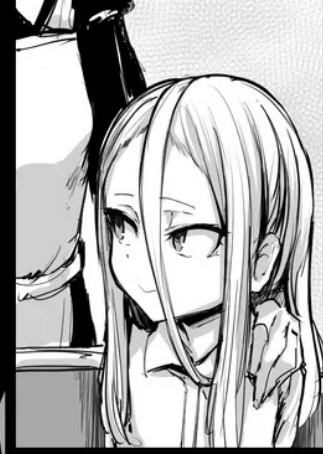


ブッフ  
びゃって！





何で...



記憶も  
名前も  
全部嘘

嬉しかったこと



悲しかったこと



嬉しかったこと

あなたがここに  
来る前に  
思い出せること  
すべては嘘



わたし  
私...



ただ「あった」という認識があるだけ

そういう人が居た  
そういうことが起きた

私は  
誰なんですか…？

あなたは可能性

まっさらなあなたが  
ここで何を望まれ  
何を得て  
どんな色に染まるのか

あなた自身が  
知りたがって  
いるんです

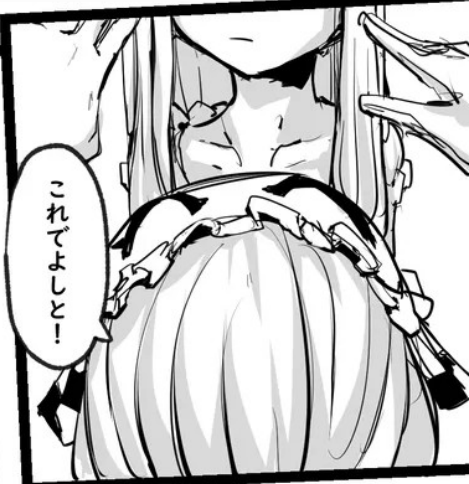
…目を閉じて？



えーと  
髪はこんなんでー

あ  
目ももう隠さなくて  
いいですね

とっちやおー



これでよしと！



迎えに  
きましたよ  
エンゼロちゃん  
ご主人様

ご苦労様  
結果は  
どうだった？



せつかくそれっぽい  
雰囲気作ったのに  
淡々としてますねえ  
さっきまでの  
可愛げはどこへ…

あるわよ  
目の前に



えっと次の  
候補地はですなー

ごしき  
御四季、アツシユカバード  
このあたりは史実どおり  
ほぼアレが関わってます

あとは面白そうなのが  
世界中ちらほら  
まあー全部ベル君が  
調べたんですけど！

不憫だわ…  
まずは…御四季  
からかな

伝えときまーす  
で、どうでした？

ん？何…ああ  
ただの欲まみれの  
畜生だったよ  
…どうせ見てたでしょ



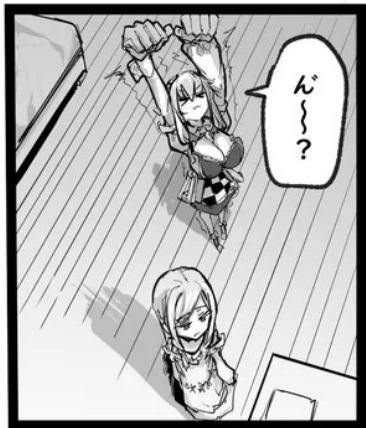
…戻ろうか

一年半前に



本音と建前

8..2



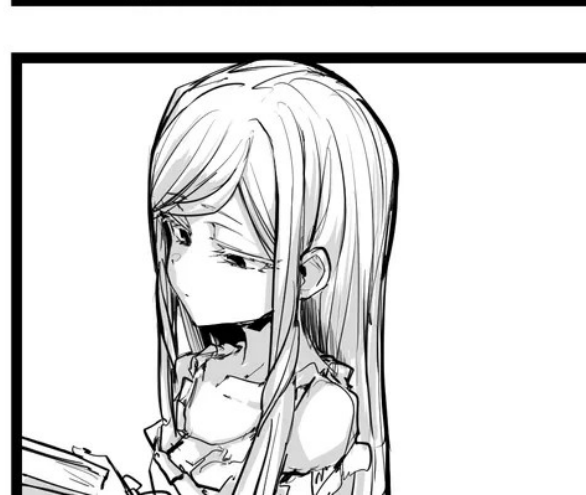
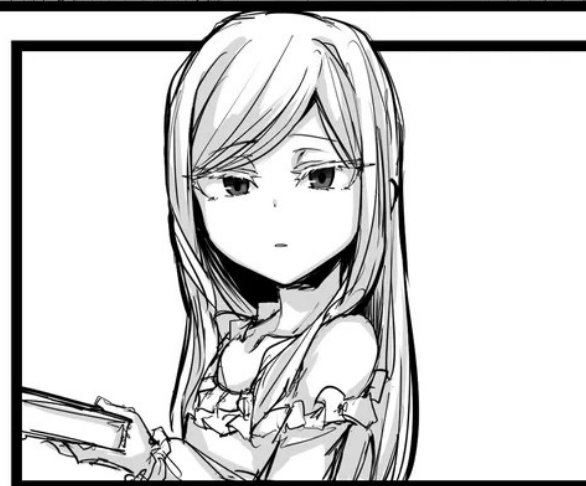
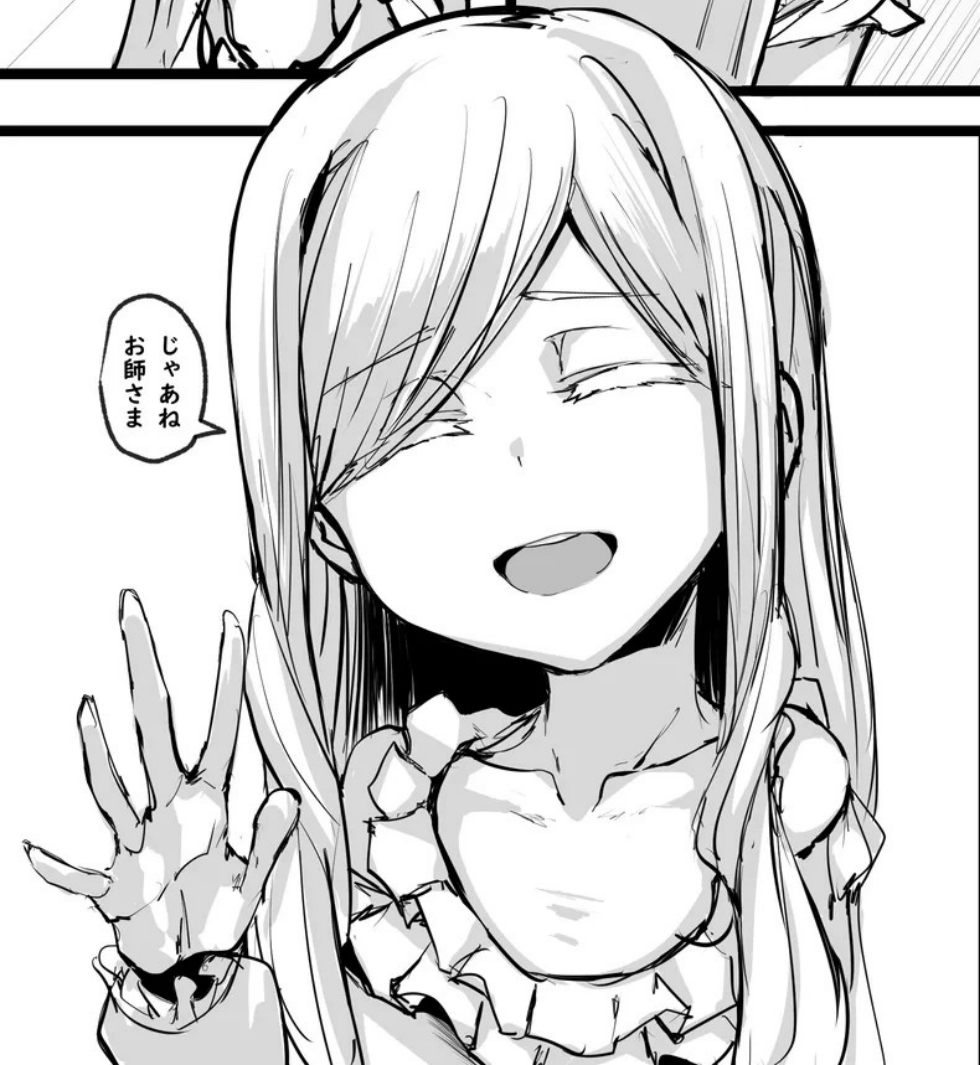
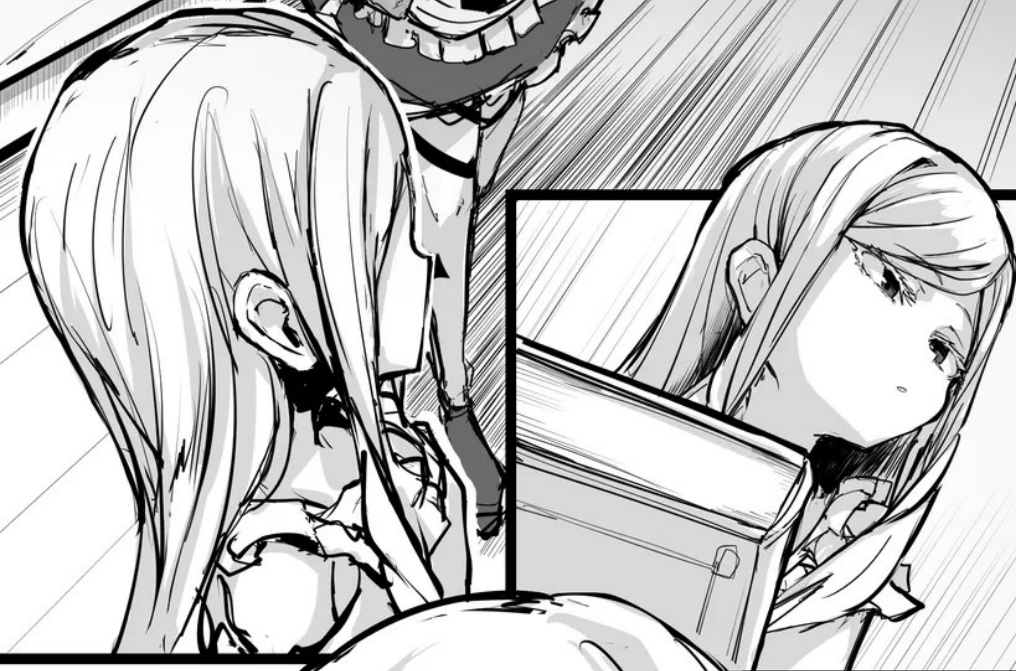
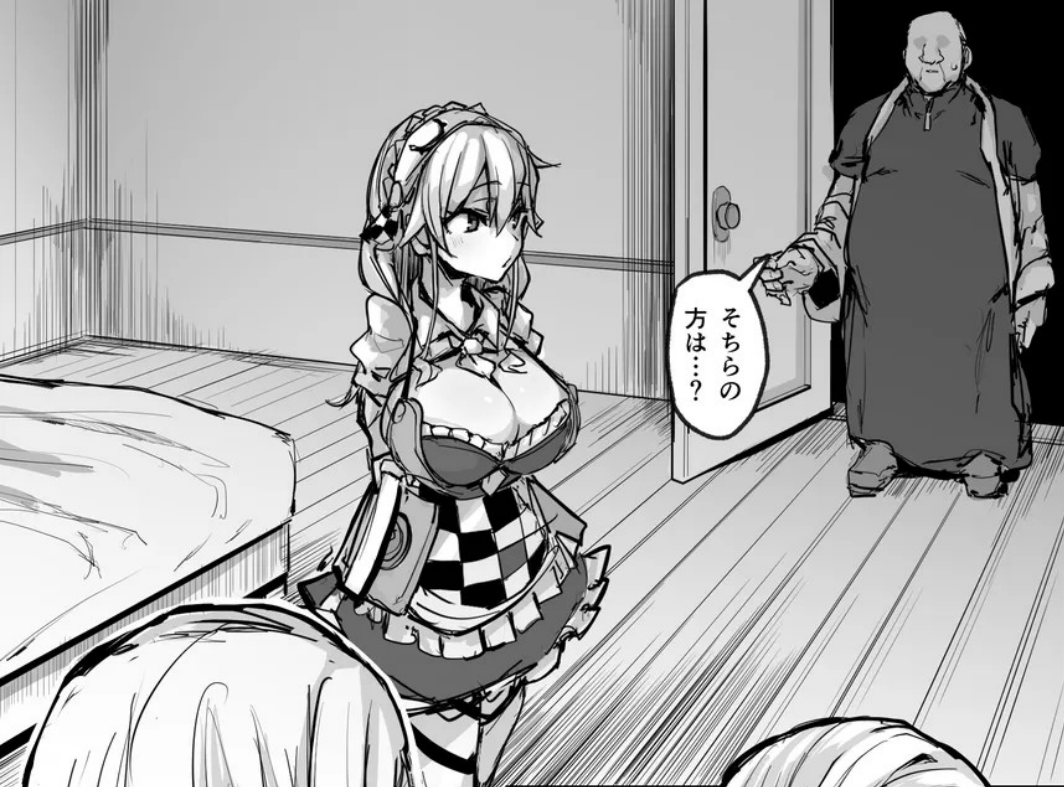
ん…？

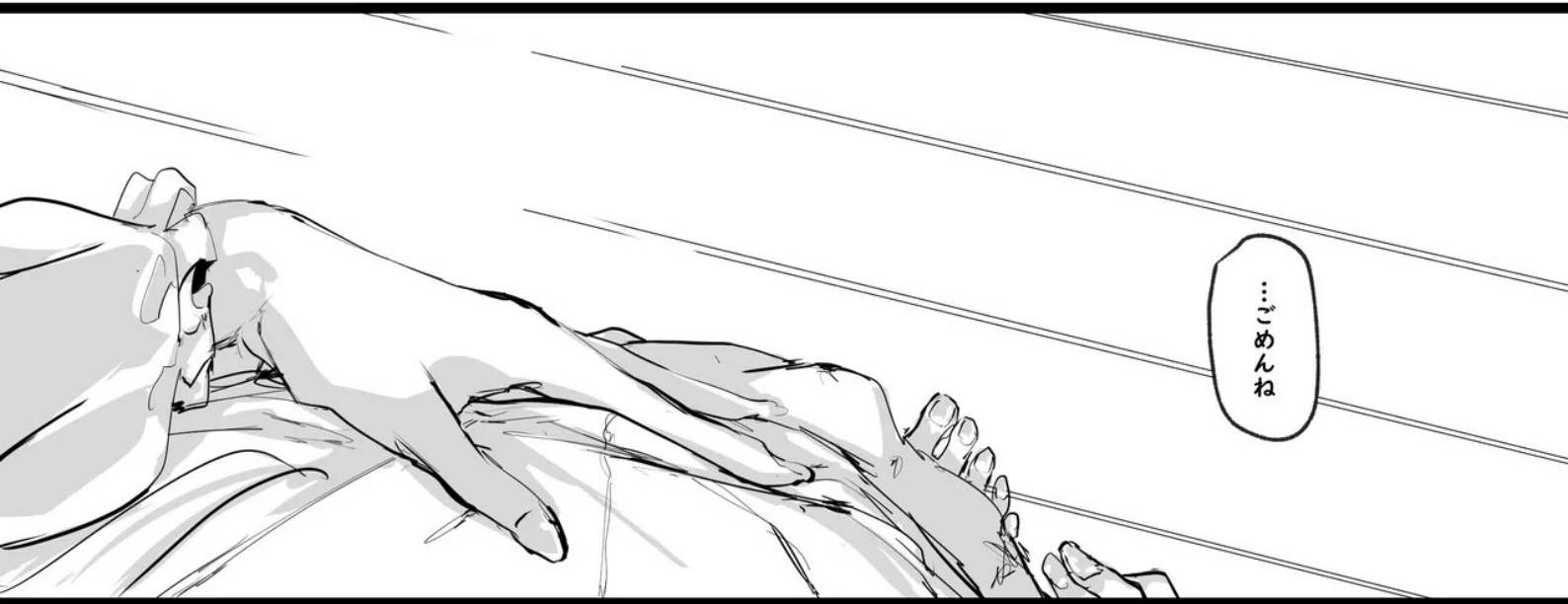


まだ完全には  
私と私との間で  
折り合いついて  
ないから…  
たった一年半でも  
無地の私には  
あいつが世界の  
全てだったのよ

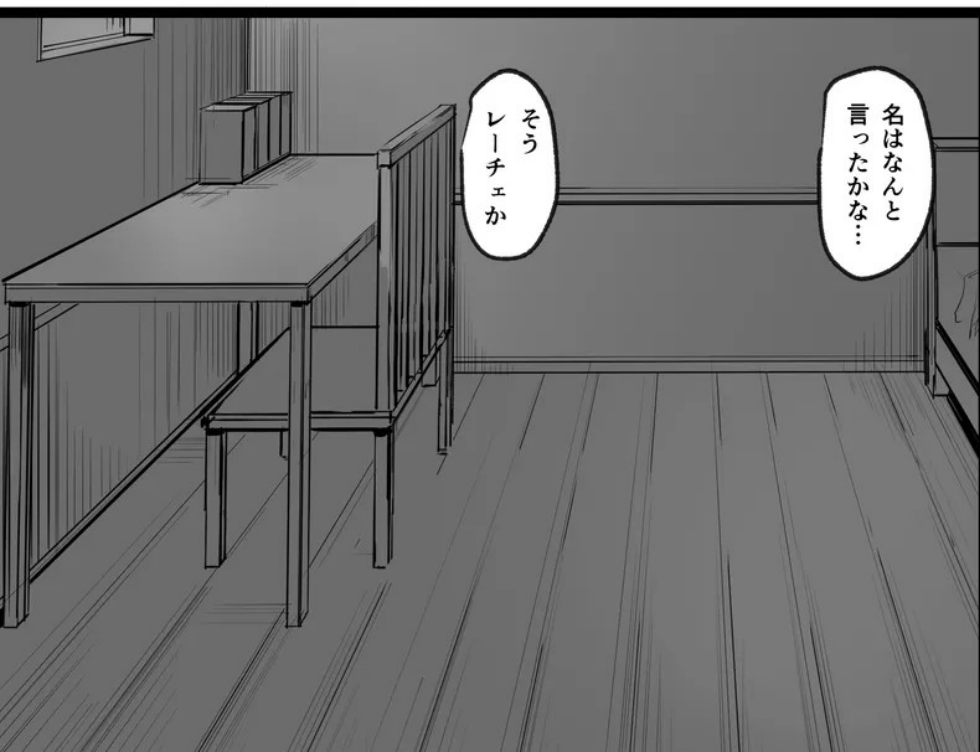
そういう  
もんですか

そういう  
もんみたい  
いつもそう





ごめんね

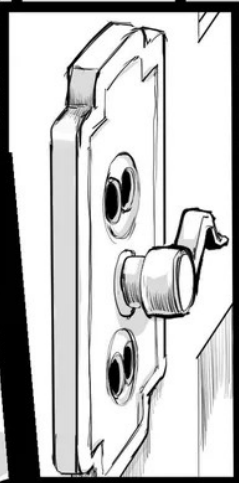


そう  
レーチェカ

名はなんと  
言ったかな…



いよいよ  
明日か…

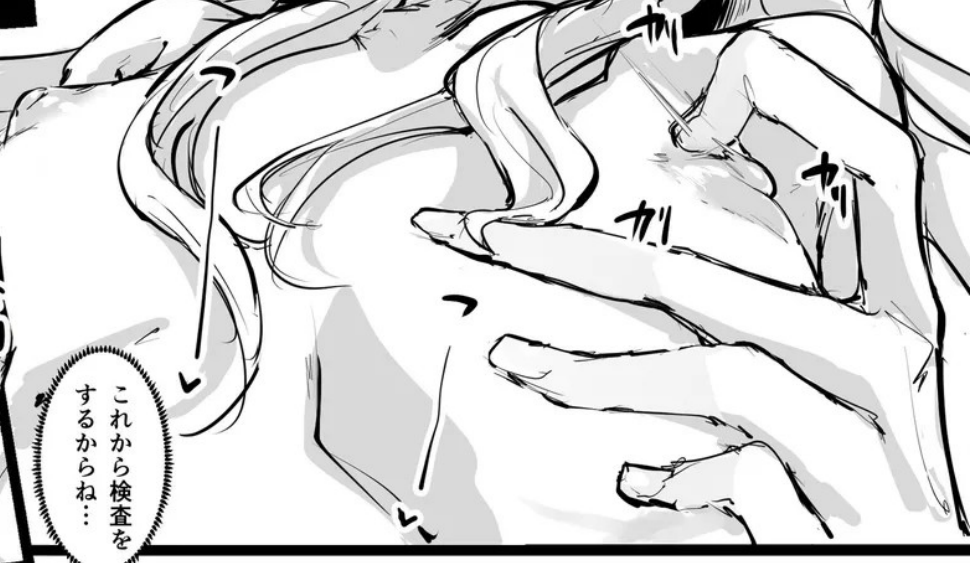


ソニア...

あ……  
お楽しみを

ん……  
ちよつとこれ  
置いてくるから

ん、帰ってきた  
我が家!



これから検査を  
するからね……





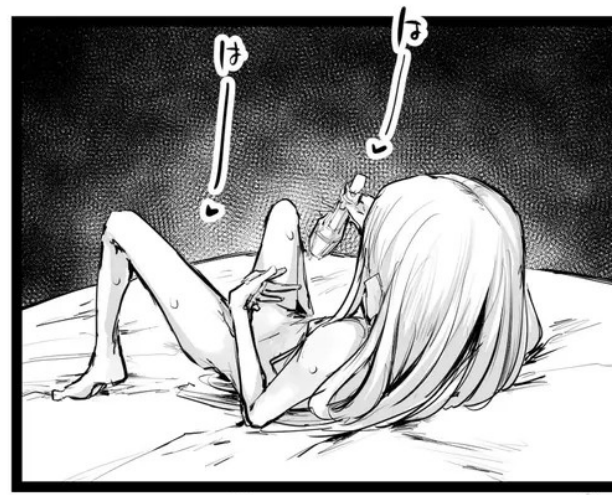
私たちの  
穢れを…!

どうか私の…



巫女様…

巫女様…





おっ

おっ

おっ

おっ

おっ

フ

おっ

私だけの…!

ソニア…!  
ソニア!

フ

おっ

おっ

おっ

おめでとう  
ソニア

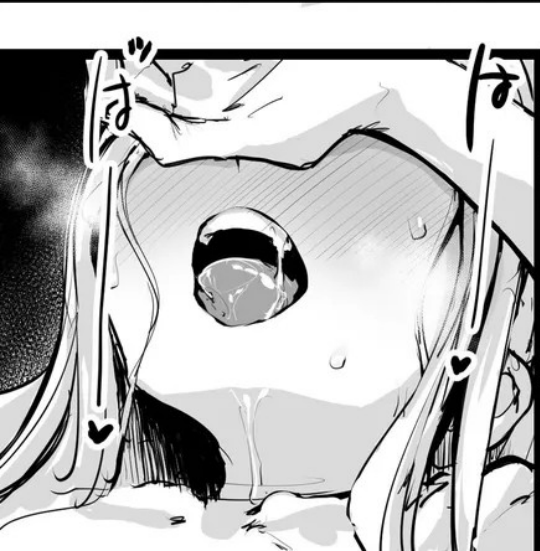
君は私の子を  
孕んだんだよ

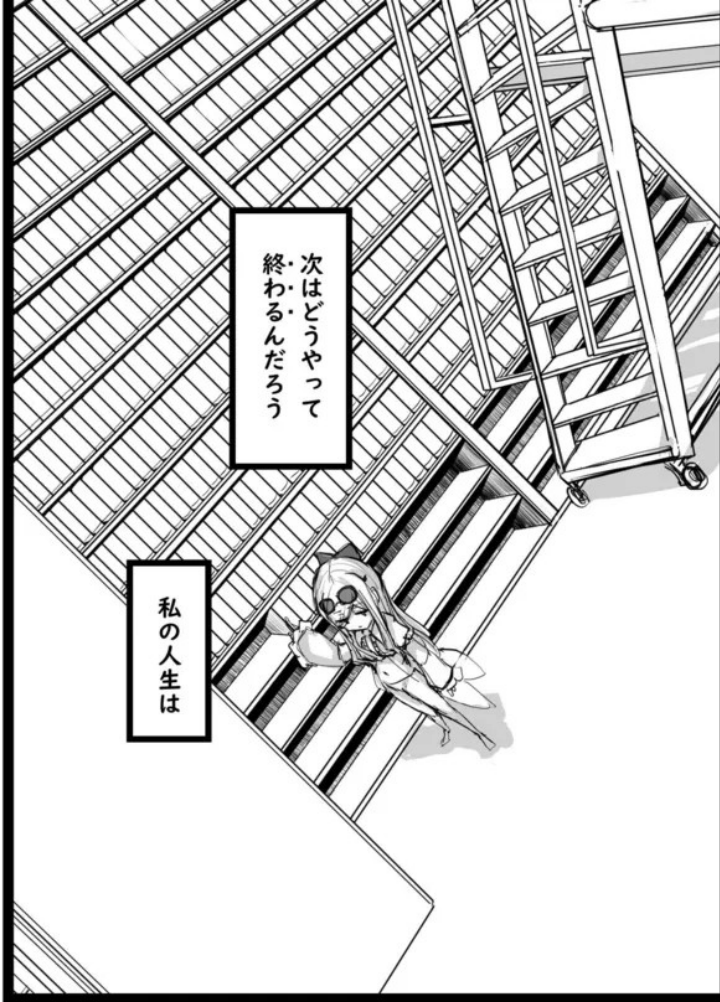
おっ

おっ

おっ

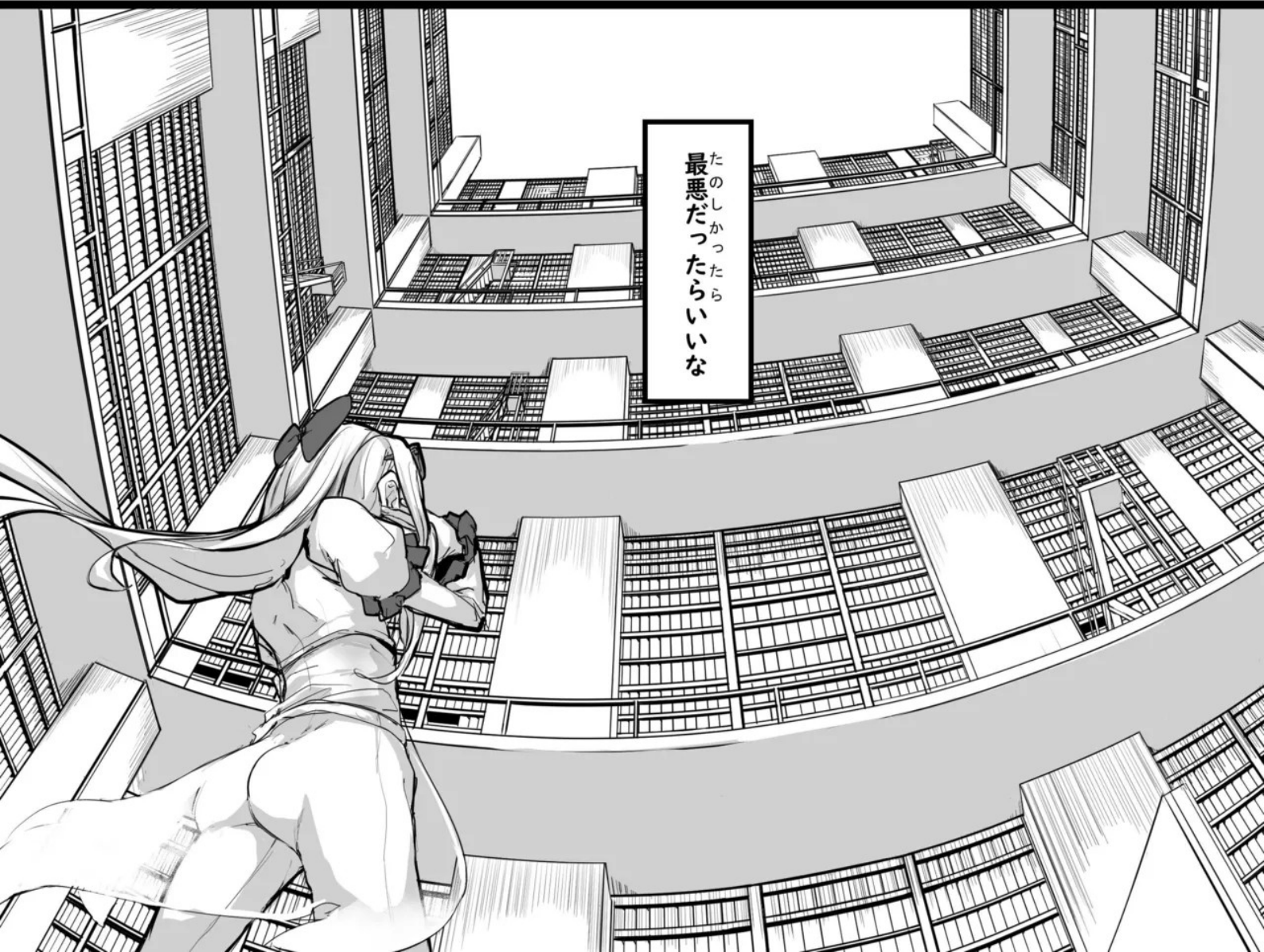
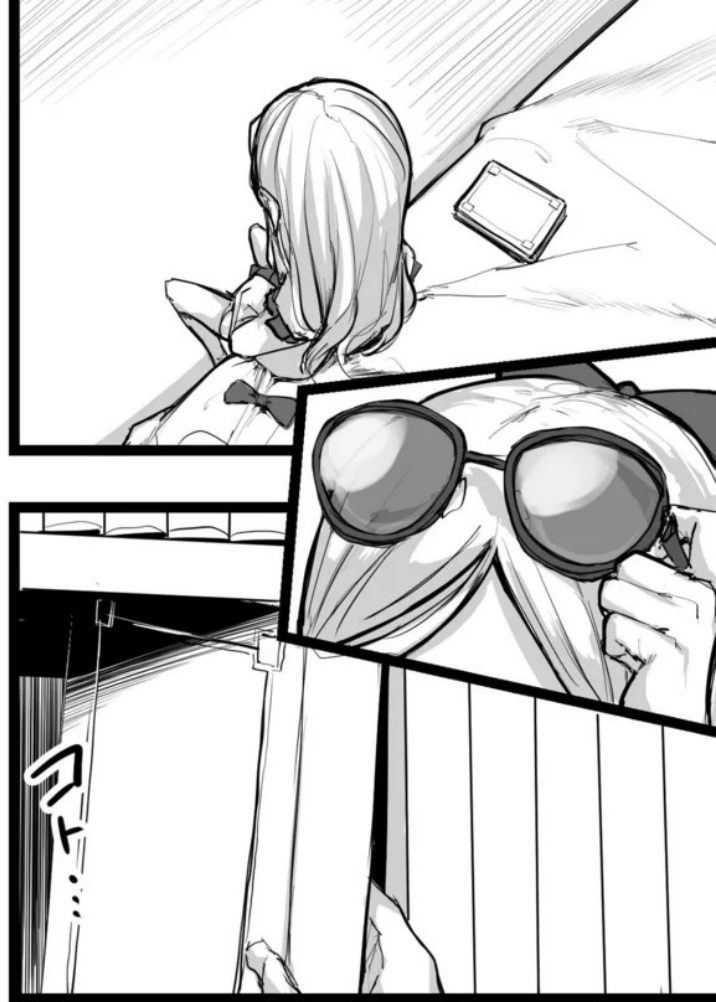
おっ






次はどうやって  
終わるんだろう

私の人生は



たのしかったら  
最悪だったらいいな



◆お手にとっていただきありがとうございます！

◆この物語はフィクションです。

実在する人物、団体、宗教とは関係ありません。

◆本書の転載、アップロード、複製を禁じます。

善意であっても本書を翻訳したものを不特定多数が  
閲覧可能な場所にアップロードしてはいけません。

奥付

サークル：K2マンホール

発行人：P